



平成 23 年 3 月 15 日

日本ハリストス正教会教団
管轄司祭 及び 教会 各位

日本ハリストス正教会教団
仙台の主教 セラフィム



東日本大震災の現状報告

主の御名によりてご平安をお祈りいたします。

すでに各報道により、3月11日三陸沖を震源とする大地震による被害の惨状をご存知のことと思います。この度の大地震は未曾有の被害をもたらし、東日本主教教区の教会にも人的・建造物にも甚大な被害をもたらしました。しかし、その詳細な被害状況の把握は、現時点では出来ておりません。特に大津波に襲われた沿岸部は、通信網と道路が寸断されたこと、またあらゆる交通手段の途絶により、未だ連絡が取れない状況です。また、燃料等の問題もあり、被災地を管轄する神父達の移動もままなりません。

昨日あたりから避難所に逃れることが出来た方々の名簿がインターネット上で公開され始めており、その名簿を頼りに各教会信徒の安否確認をしております。仙台正教会、前盛岡管轄司祭のステファン内田神父様、またゲオルギイ松島神父様を中心とする西日本主教教区の神父様達が各教会の信徒名簿を参考に確認作業のご協力をいただいております。

下記の教会は管轄神父の報告により、多少の被害は認められるものの人的被害が比較的軽微な教会です。

北鹿正教会、盛岡正教会、岩谷堂正教会、遠野正教会、一関正教会、金成正教会、十文字正教会、仙台正教会、中新田正教会、福島正教会、白河正教会

上記以外の教会の状況は全く不明ですが、可能な限り情報を得て把握して行く所存です。

尚、国内外を問わず被災救援の申し出が仙台地区の通信網の回復と共に多く寄せられておりますが、まだ復旧・復興という段階には至っておりません。

救援募金や救援物資等の対応につきましては、教団宗務総局に依頼しましたので、改めて皆様方へご連絡があると思います。

各教会におかれましてはこの現状報告を管轄内信徒各位にお知らせ下さるようお願いいたします。